

自分の耳を疑ふまで

解散に驚く地方人士

政戦に殃さるる今年の花

議會解散の報は、豫案成立の今日全然之種の政治的動きに關心を持たなかつた地方人に對し、空谷足音の一大驚異を投じ、均しく呆然自失の態であつた、而も解散の場合に於ける選挙は解散の日より三十日以内にて之を行ふ(選挙法第十八條後段)事となるので、今年の花見頃は政戦に火花を散らす最中となるので、種々な意味に於て各方面に及ぼす影響が少なくないと思われ、あらゆる階級に名状し難い一種の焦燥氣分を煽つてゐる。

選挙期日決定

議會解散による總選挙は四月三十日と決定した

小檜山磐中校長 福島中學に榮轉

齊藤敬頭は田中校長

今三十一日午前八時發表された本縣下中、小學校教員の定期異動によつて、磐城中等學校校長小檜山久作氏は福島中等學校校長に榮轉、後任は相馬中等學校校長淺水成吉氏に決定、尚磐城中等學校校長齊藤敬頭氏は田村中等學校校長に榮轉した。

鮫川橋改修決定

國道舗装の前提として 明年度着手か

内務省土木局では昭和十二年年度國道改良費の割當に關し、審議中の東北六縣中、心に緊急を感ずる國道並に橋梁の大改修を行ふ事と決定した。本郡關係左の如く、六號線(鶴村より植田町(鮫川橋)延長五〇〇米、幅員七・五〇米、事業費一五〇、〇〇〇圓)

平署駐在異動

平署では今三十一日附左の如く駐在巡査の異動を行つた、尙北駐在所は新には既報の如く來月十日を十

忠魂祭典

春の序曲

製薬組合 大會出席

本縣下に百五十萬圓の生産力を持つ製薬組合では、明日一日重要製薬地たる石川町製薬館に於て開かれる東白川石城石川の各組合員約七十名出席する大會に於ては、永年の懸案たる粉物の縣直接検査申請に關し、今秋迄に目的を貫徹すべく一大運動を開始し、縣全体の品質の向上を計る方針である。

鯨岡久一郎氏盛葬

早世を悼む多数弔辭

本町の少壯有志として大將の活躍を期待され、不幸病歿の爲急逝した鯨岡久一郎氏の盛葬は、昨日午後二時同町惣寺に於て執行されたが、町の名門の運動界に對する功勞及び兄弟戸部光術氏の親戚關係等にて會葬者非常に多く、花輪其他多数の供物に行列を飾り地方稀有の盛葬であつた。

縣下産婆大會

來月中旬平町で開催

縣下の産婆大會は花籠町の村では右の如く行政區長の來月十七、八日頃平町で開改選を行つた。

江名、勿來兩町に 水産加工場新設

農林省補助技術師實踐

農林省監督課補助技術師、同藤崎廣の兩氏は昨日三十日、同來町江名漁業組合、今三十日は江名町に、今度新設される事になつた水産加工場に對する農林省の補助で實現を進んでゐる。

瀧澤道師講演會

明日九品寺で

平町九品寺では同寺布教師、大僧都瀧澤道師を招き、明日一日午後一時から同寺四圍の外事業奨励費として、佛敎講演會を開催し、一追加四百九十圓を可決、終同師は去る二十六日湯本町慈善寺を振り出しに行つて來り、明日三十一日は午前中平野、夜は片倉製糸、神谷村住持寺で行ひ來月四日勿來町住持寺で終る、演題は「空谷の足音」

正しい 角度から市制を観る

土浦 栃木飛び歩る記

要する所である、もし七、四、地方産業の振興に就て浦と合併すれば教育上の設備其他一切の點に於て是正せられるであらうし、また既に現在に於て中家の児童にして土浦小學校に通學してゐる者實に四十名の多きに達してゐる事實を看過してはならない。

推して町の自治に關與するや、東奔西走殆ど疲れて茫然爲す處を知りません。君は病を獲て東都に歸るの身となつたや、吾人の身は只管神佛の加護冥助に頼り、君の健康に信賴し、必ずや君の歡びを提げて捲土重來の日近きに在るを信じたのであります。然し、君の健康に信賴し、必ずや君の歡びを提げて捲土重來の日近きに在るを信じたのであります。然し、君の健康に信賴し、必ずや君の歡びを提げて捲土重來の日近きに在るを信じたのであります。

坂本氏の死面作製

故人と特殊の關係あつた 赤堀氏昨夜急遽來平

平町會議員市制調査委員長坂本隆藏氏の死面作製は、昨日の如く明日執行されるが、生前關係を有した彫刻家赤堀信平氏、突如たる訃音に接するや急遽昨三十一日夜の急行にて來平、今三十一日永遠の眠りに就いた氏の枕頭に於て涙を流すにその相貌を寫し、作像の資料となつた。

魁文堂

新學期出直し 各種教科書及辭書類 國定教科書及大教科類 ランドセル、アルバム 万年筆

事實無根

本馬氏は語る

本馬氏は語る、一昨年七月以來の店子で借家契約書にも印をつかず家賃、殆ど入つてない、今度も去る二日何の様に小學児童の多き土浦校に通學してゐるではないか。

値上通知

平町左官工友會 平町左官組合

一、日工料 一、日工料

平町二丁目 福多屋祝品部

形人なひた

東京一流 豊月の特作品...

平町二丁目 福多屋祝品部

事實無根

本馬氏は語る

本組合監事坂本隆藏殿三月廿九日午後四時急逝被致候此ノ段謹告仕り候

昭十二年三月三十日 有限責任 信用組合 平庶民金庫 組合員各位

忠魂祭典

父隆藏病氣中の處本日午後四時死致候、付此段御通知申上候

昭十二年三月廿九日

親戚 鈴木新右衛門 諸橋久太郎 友入 青沼鋒太郎 總代